

4年ぶりに実った小櫃のみんなの想い

第48回 小櫃地区文化祭開催

10/29(土)
30(日)



第 226 号

編集・発行
〒292-0451 ☎35-2488
君津市末吉128
小櫃公民館

小櫃の人口

男 2,313人
女 2,299人
計 4,612人
世帯数 2,027世帯
(令和4年11月末現在)



小櫃小学校の子どもたちの元気一杯の合唱！

令和元年10月の集中豪雨、その後の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて3年に渡り中止が続いていた小櫃地区文化祭が、この度4年ぶりに実施されました。文化祭実行委員会を組織し、小櫃の皆さんと一緒に作り上げた秋の文化の祭典を盛況に開催することができました。



天気も良く楽しいロビーでの一時



みんなの安全を守る警察・消防の皆さん



小櫃菊友会の見事な菊

「文化祭のテーマ・目標」
48回目を迎える小櫃地区文化祭は小櫃公民館利用者連絡協議会の鈴木正之会長を執行委員長に選出し、「出会いふれあい 学びあい 豊かな「美・土・里」を未来へ」をテーマに行われることになりました。
共通目標は「活動の輪を広げて、小櫃地域を盛り上げよう」です。この目標は令和元年の第45回の時と同じではありませんが、今回は、コロナ禍により縮小した地域の活動を再度広げていこうという想いを込めています。
実行委員会は7月に第1回を開催した後、8月、9月に各1回ずつ行い、当日まで準備を進めてきました。
「晴れやかに迎えた文化祭」
当日は2日間とも穏やかな晴天に恵まれ、たくさんの方々に来ていただきました。公民館の耐震補強工事も文化祭の間に完了し、利用に制限のあった2階部分も含めて全ての部屋を文化祭のために使用することができました。
今までの文化祭と同様に、模擬店、展示、芸能発表、催し物(体験)の4部門全て揃った内容で開催することができました。模擬店で販売した食べ物を持ち帰りのみとするテイクアウト形式をとるなど一部制限はありましたが、文化祭を開催できたことはコロナ禍から徐々に日常に戻ってきたことを印象づけました。
3年間の中止にもくじけず、再び文化祭の実現のために集まって協力してくれた皆さん、コロナ禍の中にも関わらず新たに参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。久しぶりに小櫃の皆さんの笑顔をたくさん見られた文化祭となりました。



白山神社の神楽で実際に使われている獅子頭(俵田地区)

特別企画
小櫃まるごと博物館構想事業
小櫃地区の地域資源の再発見をテーマに長谷川ホテル谷フェスタや小櫃の四季、白山神社の神楽、船塚山のサクラ小櫃学などの映像紹介、パネル展示を行いました。また、俵田自治会のご厚意により神楽の獅子頭の実物をお借りし展示することができました。小櫃の皆さんから貴重な資料をご提供いただき、充実した展示となりました。



展示会場 和室
「小櫃の書」の書道作品

展示作品に力作が勢揃い
昨年一昨年と開催したおびつミニフェスタでも展示は行いましたが、今年には待ちに待った文化祭への出展とのこととで特に力作が並びました。コロナ禍の中でも地道に活動を継続してきた成果が発表されました。
展示会場では作者による作品の解説が行われ、作品をより楽しむことができました。丹精込めて作られた生け花や菊花は会場を華やかに明るく彩りました。



君津青葉高校の模擬店
農産物やお菓子の販売

高校生の若い力が大活躍
君津青葉高校の生徒が、今回も大活躍してくれました。会場設営では先生と生徒併せて9名が参加し、パイプテンの組立などの力仕事に手を貸してくれました。若い力が加わったことで、今年は例年より早く会場設営が完了しました。
当日の展示会場では、華道部による美しい生け花が並びました。外の模擬店での草花や野菜、お菓子等の販売は今度も大盛況でした。



「小櫃そば打ち迷人会」による
手打ちそばの実演販売

模擬店が大人気
感染拡大防止のため持ち帰りのみとの条件が付きましたが、模擬店での食べ物の販売が行われました。焼きそば・ケーキ・手打ちそば・フランクフルト・揚げパンなどが並び、会場においしそうな匂いが漂いました。
出店した方からはコロナ後、初めての開催であるため売れ残りが出ることを心配する声もありましたが、終わってみればきれいに完売となりました。



君津ふるさとかるた大会
小櫃地区大会 個人戦

会場に子どもたちの明るい声
小櫃小学校合唱部による歌、スマイルエンジェルのダンスの発表が行われ、子ども達の元気な姿が会場をよりにぎやかにしてくれました。屋外の白バイなどの車両展示では試乗を体験した子ども達も笑顔を見せていました。
新しく作られた令和版君津ふるさとかるたでの最初の大会も行われ、子どもたちが熱戦を繰り広げました。



「うたおう♪みんな」の斉唱
「青い山脈」「赤とんぼ」

芸能発表
今年誕生のサークルが初参加
2日目の芸能発表ではカラオケや舞踊、ダンス等の発表が行われ、サークルや個人の皆さんが普段の練習の成果を披露しました。
今回初参加となったのが今年新たに誕生したサークル「うたおう♪みんな」です。ピアノの伴奏により2曲斉唱しました。新しいサークルが発表に加わったことはうれしニューズでした。

オールおびつ コロナに負けるな第一歩

第46回

小櫃地区ふるさと祭り開催

11/13(日)

ふるさと祭りが3年ぶりに帰ってきました。あいにくの雨の中でしたが、会場となった小櫃公民館は賑わいをみせました。

【ステージ発表】



雨のため講堂での実施となりましたが、ダンスや大道芸、太鼓や津軽三味線の演奏で盛り上がりまりました。室内での発表となりましたが、迫力の演技がお祭りを感じさせてくれました。

議員ほか多数の来賓の方にお越しいただき、石井宏子市長からはお祝いのごあいさつをいただきました。

感染拡大防止のため以前と時期や開催時間を変えての実施となりましたが、「オールおびつ コロナに負けるな第一歩」のテーマにふさわしいお祭りとなりました。

コロナ禍の中での実施という難しい状況を乗り越えて開催を実現した実行委員会の皆さん、ありがとうございます。

※前号の記事で「小櫃地区自治会連絡協議会」主催としたが、「小櫃地区ふるさと祭り実行委員会」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

雨のため順延が心配された花火ですが、予定通り実施されました。直前まで雨が降っていましたが、花火の打ち上げが始まると地域の皆さんの思いが通じたのか不思議なことに雨がやみました。夜空に次々と輝く花火を眺めることができました。会場外から楽しまれた方も多かったことでしょう。

【抽選で豪華景品ゲット】

混雑緩和のため今回は会場での抽選会が行いませんでしたが、今までと同様に大型4Kテレビを始めとする豪華景品が用意されました。当選者には自治会を通して景品が配送されました。



久しぶりの花火を願いを込めて見上げる小櫃の皆さん



おびつびと



喜多見徳治さん (箕輪)

「おびつびと」では小櫃地区に在住で、特技や好きなことに取り組んでキラキラと輝いている人にインタビューをしています。

第6回目は箕輪地区にお住まいの喜多見徳治さんです。86歳の今でも多方面で精力的に活動している喜多見さんからお話を伺いました。

【最近の活動】

シルバー人材センターの職員として老人憩いの家すえよしで働き、来場者の受付や風呂場の清掃を行っています。仕事のほかたびだちの村尾車でボランティア活動も行っていきます。今一番意欲を持って取り組んでいることは歩くことで1日1万歩を目指しています。

【歩行距離】

地球一周分を目指して体を鍛え、健康を維持するため12年前から一日1万歩を目標に歩くことを始めました。台風などで一日中悪天候になる日以外はほぼ欠かさず時間を見つけて歩くようにしています。

【カラオケ】

カラオケも写真撮影と同じく長く続けています。一番の思い出は平成7年の若潮歌謡祭で、小櫃地域では太古から人が生活していたことがうかがい知れます。

【写真撮影】

長年続けている趣味の一つが写真撮影です。最近撮影した雉の写真は社会福祉協議会長賞特選を受けました。昔撮った写真の中では、昭和61年に来日したイギリスのチャールズ皇太子・ダイアナ妃ご夫妻(当時)を撮影したものがお気に入りです。車上のお二人を撮影するため高い場所を確保するのに苦労したのも今では良い思い出です。

【地球一周分を目指して】

今年の11月の時点で累計歩行距離が2万8千キロメートルに到達しました。今は地球一周分の距離にあたる4万キロメートルの達成を目指しています。

【小櫃学開催】

10月16日、地域学習講座「小櫃学」を実施し、秋晴れのなか子どもから大人まで23名が参加しました。

【小櫃の三大古墳】

今回のテーマは「親子でめぐる古代の小櫃」として、君津市の文化財主事、曾我真実子さんを講師に、古墳についての基礎を学んだあと、現地見学として、「小櫃の三大古墳」の一つである白山神社古墳と戸崎古墳群の一部として、萬福寺周辺を歩きながら見て回りました。古墳周辺は事前

【戸崎古墳群】

に地元の方から草刈りのご協力をいただきました。講座の後半には、戸崎古墳群から出土した土師器(はじき)や須恵器(すえき)、寺沢井戸遺跡の竪穴住居跡から出土した土器に実際に触れながら、古代の小櫃に住んでいた人々の暮らしに思いを馳せました。



戸崎古墳群分布図

【若潮歌謡祭】

祭で上位の成績を収めることができたことです。今年は卒寿の集いや文化祭の芸能発表でも披露させていただきました。

【歌う時はうまく歌うこと】

歌う時はうまく歌うことよりも来てくれた方に喜んでもらうことを大事にしています。いろいろな制服を着て舞台上立つのもお客さんに楽しんでもらいたいからです。

【来年の文化祭】

来年の文化祭のカラーオケではとっておきの新しい衣装で出演する予定です。楽しみにしててください。

【小櫃公民館耐震補強工事完了】

8月1日から行われていた小櫃公民館の耐震補強工事が10月27日に完了しました。令和3年7月から使用中止していた2階の研修室・講義室が使用できるようになりました。図書室棟への通路の通行止めも解除されました。利用者の皆様にはご不便をおかけしていましたが、耐震基準を満たし、全館通常どおり使用できるようになりました。今後は安心して公民館をご利用ください。

【工事完了】

工事の完了により小櫃公民館は12月1日から小櫃地区の第一避難所になりました。一時的に第一避難所となっていた老人憩いの家すえよしは第二避難所になりました。避難所の開設状況は防災無線やホームページ等でご確認ください。

【早いもので年の瀬を迎え】

早いもので年の瀬を迎えました。毎年感じていることではありますが、12月になると年月の過ぎる速さに驚かされます。今年一番良かったことは、何と言っても4年ぶりに文化祭を開催できたことです。私にとっては初めて参加した文化祭でしたが、多くの地域の方の協力があったり成り立っていることを強く感じました。

コロナ禍以前に行っていた行事を数年ぶりに再開したというニュースを今年よく耳にしました。停滞や縮小してしまっていた地域の活動が徐々に再開し、以前の活気が戻ってきているよううれしく思います。

来年はもっとよい一年になりますように。(貴)

【編集後記】

今年一番良かったことは、何と言っても4年ぶりに文化祭を開催できたことです。私にとっては初めて参加した文化祭でしたが、多くの地域の方の協力があったり成り立っていることを強く感じました。

【コロナ禍以前】

コロナ禍以前に行っていた行事を数年ぶりに再開したというニュースを今年よく耳にしました。停滞や縮小してしまっていた地域の活動が徐々に再開し、以前の活気が戻ってきているよううれしく思います。

【来年はもっとよい一年に】

来年はもっとよい一年になりますように。(貴)